



は、ほじょ^{けん}犬の^{どうはん}同伴を

^{かんげい}歓迎しています。



ほじょ^{けん}犬

平成^{へいせい}15年^{ねん}10月^{がつ}から、デパート、スーパー、ホテル、レストランなど
一般的^{いっぱんてき}な施設^{しせつ}にほじょ^{ほじょ}(補助^{けん})犬^{どうはん}の同伴^{どうはん}ができるよう
になりました。みなさまのご理解^{りかい}、ご協力^{きょうりょく}よろしく^{ねが}願^{ねが}いします。



盲^{もう}導^{どう}犬^{けん}

目^めの不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}を
誘^{ゆう}導^{どう}します。



介^{かい}助^{じょ}犬^{けん}

からだの不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}の
手^て足^{あし}となつて働^{はたら}きます。



聴^{ちよう}導^{どう}犬^{けん}

耳^{みみ}の不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}に
音^{おと}を知ら^しせませす。

ほじょ^{けん}犬^{けん}はペット^{ペット}ではありません。厚生^{こうせい}労働^{ろうどう}省^{しょう}の「身体^{しんたい}障害^{しょうがい}者^{しゃ}補助^{ほじょ}犬^{けん}法^{ほう}」に基づ^{もと}いて認^{にん}定^{てい}
された、とくべつな訓^{くん}練^{れん}を受^うけた犬^{いぬ}たちです。いわば、からだの不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}の、からだの一部^{いちぶ}。社会^{しゃかい}の
マナーもきちんと訓^{くん}練^{れん}されていますし、手^て入^いれにも十分^{じゅうぶん}注^{ちゆう}意^いしているの^{ので}衛^{えい}生^{せい}面^{めん}でも安^{あん}心^{しん}です。